

理事長あいさつ



理事長 船越 昇

「自主・自立」の年へ

あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。今年も健康に留意され、若々し

い
気分でご活躍されますよう、祈念しています。

社団法人 精華町シルバー人材センターは皆様のご尽力によりまして、平成18年も大変実り多い年になりました。4～10月の契約金額は前年同期より約20%増え、受注件数は40%も増加しました。金額が2ケタの伸びを示したことは素晴らしいことですが、一般家庭を中心に件数が4割も増えたことは、センターの丁寧な仕事振りが住民の間で評価されて利用者層が広がっていることを意味しており、喜んでいます。日常の仕事以外でも、初めて取り組んだ子育て支援事業やシルバーサロンの開設、会員研修、継続事業の文化展なども所期の目的を達することができました。

今年もこの勢いが続くよう頑張っていくますが、環境は厳しくなっており、「自主・自立」への一層の努力が求められる年になりそうです。すなわち、収入面で大きな部分を占めていた国と自治体からの補助金が大幅に削減される雲行きです。すでに昨年末には京都府からシルバー連合会を通して補助金カットの意向が示されました。事業面でも楽観はできません。センター設立以来続いている契約金額2ケタ増の記録はいつまでも続く現象ではありません。公共事業の発注条件はより厳しくなることを覚悟しておかなければなりません。

当センターではいま平成23年を目標年次にした5ヶ年計画を策定しています。団塊世代の加入や補助金削減などの環境変化に対応してセンターの運営方針を示しておこうというもので、3月の通常総会で皆様にお示ししたいと考えています。計画の中で特に強調したいのは、会員の積極的参加です。経費を抑制しながら増える受注をこなしていくには、会員がセンターを自分の組織と自覚して、出来ることは自分でやる。「自主・自立・共働・共助」というシルバーの基本理念の実践が今こそ必要です。元気のいいセンターとそうでないセンターの差は会員の行動次第だとみています。会員、役員、事務局職員が一体になって元気印のシルバー人材センターを育てていきま

中期5カ年計画(案)の策定について

平成19年以降、団塊の世代が60歳を迎えるとともに入会者数も増え、就業の場の確保が直面する最大の課題になると想定されます。活力ある高齢社会の実現をめざしてセンターの運営をさらに堅実なものにしていくために、平成23年を目標年度とする中期計画（5ヶ年計画）を策定中です。

第1回中期計画策定委員会 平成18年 9月19日（火）

第2回中期計画策定委員会 平成18年12月 5日（火）